

講評

出題の意図

高等学校で学習した英語の知識や運用力がどの程度身についているかを確認することが本試験の目的です。文法・英作文・会話文・読解まで、幅広く学習しておくことが大切です。複雑な国際化が進んでいる今こそ「コミュニケーション能力」が必要とされています。ただ会話の内容を考えるだけでなく、話している人たちの立場やその会話が行われている場面・状況までもしっかり把握することが必要です。会話文特有の表現も使いこなせるようにしてください。

長文読解では論旨の展開を的確に読み取る力が必要とされます。

ある程度の長さのある英文を、論旨は何か、主題は何かということ、段落ごとに区切って、考えながら読んでいきましょう。

次の①～⑤の項目についてさまざまな設問形式で出題します。

- ①長文読解（文脈を見据えた内容把握など）
- ②会話文読解（会話の流れの把握・会話定型表現の知識など）
- ③文法・語彙・語法
- ④英語表現（語句整序）
- ⑤会話表現（短い会話の完成）

出題内容・解説

出題日ごとに、正答率が低いものを中心に、解答のポイントを解説します。

「1月31日午前」

- Ⅱ・問2-2 正解は①。He surprised…ではなくHe was surprised…となるべきです。
- Ⅱ・問3-1 正しい順番で書くと、Please help ⑤yourself ①to ③anything ②you ④like on the table. となります。“Help oneself”で「自由にとって食べる（飲む）/自由に使う」ですが、具体的に（食べたりする）ものがつくときにはtoが必要 です。
- Ⅱ・問4-2 正解は①。国立美術館への行き方を聞いている Tomoに、通行人はまず、駅の方へ戻り、地下道を通って地下鉄の出口を探すよう教えています。そこでTomoはいったん「ありがとうございます、そうしてみます」と言い、それに続く発話がここでは問われています。通行人の答えを見ると、さらに指示を続けたあと“There are some excellent restaurants around there, too.”と言っており、多くのみなさんはこの「レストラン」ということばに惑わされて、④を選んでしまいました。ここは“too”に注意すればわかるように、「レストランもあります」であり、レストランがあることは付随的な情報なのです。そして、道案内の指示がどうやら途中である、と判断し、Tomoの質問は①の「それから（そのあとは）どうすればいいでしょう？」である、という答えを導くことができます。

「1月31日午後」

- Ⅱ・問2-2 正解は①。これは命令法の文章です。Turning that cornerでは命令法になりません。Turn that cornerです。

「2月1日午前」

- Ⅰ・問1-(イ) 正解は③。“For fear of…”で「～を恐れて」となり、しばしば“for fear of doing”の形で使われます。
- Ⅰ・問2-(b) 正解は②。「軽く見るべきではない大きなステップ」という意味ですので、言い換えると「重大なevent」が最適解です。
- Ⅰ・問3 正解は④。“This diffusion of human settlement from a small portion of Earth’s land area to most of it”は、「この、地球の陸地のわずかな部分から大部分への移住の広がり」という意味ですから、itはEarth’s land areaを指します。
- Ⅱ・問3-2 正しい順番で書くと、“No ⑤matter ③how ①small ④it ②may be, …”となります。“No matter what [who, when, where, how] …”の使い方に慣れましょう。このようにmayを入れると堅い表現になります。
- Ⅱ・問4-2 正解は①。Danielleが地面に落としてしまい、ダメージを受けたように見えるスマートフォンについてHidekiが口にする、「お金がかかりそうだね」ということばのあとに続く文です。①の、「保険には入ってる？」が最適です。直前の、「お金が…」という文脈にも合いますし、Danielleの返答、「入っているよ。でももしかしてラッキーだったかも」と、自然につながります。多くのみなさんが選ばれた④、「スクリーンの保護フィルムを使ってる？」だと、Danielleの返答の「でももしかして…」の「でも」のところと少し噛み合いませんし、おしまいにHidekiも「スクリーン保護フィルムが役に立ったみたいだね」と言っていますから、彼はそもそも保護フィルムが貼られていることを知っているという前提に見えます。

学習のポイント・アドバイス

会話の問題や、長文問題などで、文章の論理的な展開を読み解く力が試されます。この力は一朝一夕に身につくものではありません。

日頃から、新聞の記事、エッセイ、評論、文学作品など、さまざまな種類の文章を根気強く読む習慣をつけることをおすすめします。

解答例（一般選抜(A日程)・英語)

1月31日午前		1月31日午後		2月1日午前		2月1日午後	
英語・選択-1		英語・選択-2		英語・選択-3		英語・選択-4	
I	II	I	II	I	II	I	II
ア ①	ア ④	ア ②	ア ③	ア ④	ア ③	ア ④	ア ④
イ ③	イ ③	イ ①	イ ①	イ ③	イ ④	イ ②	イ ③
ウ ②	ウ ②	ウ ②	ウ ②	ウ ①	ウ ③	ウ ③	ウ ①
エ ③	エ ①	エ ③	エ ③	エ ②	エ ②	エ ③	エ ②
オ ④	オ ①	オ ④	オ ①	オ ④	オ ①	オ ④	オ ③
カ ②	カ ①	カ ②	カ ①	カ ①	カ ②	カ ③	カ ①
キ ④	キ ①	キ ③	キ ③	キ ③	キ ②	キ ②	キ ①
ク ③	ク ②	ク ③	ク ②	ク ③	ク ③	ク ④	ク ②
ケ ②	ケ ②	ケ ④	ケ ②	ケ ①	ケ ③	ケ ①	ケ ⑤
コ ③	コ ①	コ ①	コ ④	コ ②	コ ④	コ ②	コ ④
サ ②	サ ②	サ ①	サ ④	サ ③	サ ②	サ ①	サ ②
シ ①	シ ①	シ ③	シ ①	シ ①	シ ①	シ ③	シ ③
ス ④		ス ①		ス ②		ス ③	
セ ③		セ ②		セ ①		セ ①	
ソ ①		ソ ④		ソ ③		ソ ④	

学校推薦型選抜
(公募制)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(A日程)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(B日程)

講評・
解答例

英語

国語

日本史

世界史

公共,
政治・経済

数学

生物

化学

講評

出題の意図

高等学校で学習した内容を正しく理解できているかどうか、さらにそれらを活用できるかどうかを確認します。出題範囲の各単元から幅広く、基礎的な問題と応用力が必要な問題を出題します。さまざまな定理や公式を確実に理解するとともに、意味や考え方を大切に、それらを適切に使えるように練習を十分に積んでおいて下さい。また、題意を正確に把握する力と確かな計算力も求められます。出題範囲は、数学I、数学A（「数学と人間の活動」を除く）と

し、主に、以下の内容を確認する問いを出題します。

- ①さまざまな定理や公式の理解
- ②問題に対して定理や公式を適用する力
- ③題意を把握し、問題を整理する力
- ④確かな計算力

解答方法は、選択肢から答えを選ぶものではなく、解答欄の形式に合わせて数字や記号を当てはめていく方法です。

出題内容・解説

全体に渡って標準的な問題が出題されました。単元ごとにふりかえりますので、今後の学習の参考にして下さい：

(1)「数と式」

根号を含んだ式の値を求める問題では概ね正答率の高い結果となりました。絶対値を含む問題では正答率がやや低い結果となりました。

(2)「集合と命題」

必要条件や十分条件の理解をみる問題では、正答率がやや低い結果となりました。

(3)「2次関数」

絶対値が含まれる問題について、最大値を問う問題では正答率がやや低い結果となりました。また、文字変数が含まれる2次関数の問題では、正答率が低くなる傾向があります。図形の面積を扱う複合的な問題でも、正答率が低い結果となりました。

(4)「図形と計量」「図形の性質」

いくつかの条件を正しく読み取り、それらを組み合わせて解いていく複合的な問題では正答率が低い結果となりました。特に、方べきの定理を活用する問題、三角比を活用する問題では、正答率が低い結果となりました。

(5)「場合の数と確率」

期待値を問う問題も含め、全体的に正答率が高い結果となりました。条件を正しく切り分ける必要がある問題については、正答率がやや低い結果となりました。

(6)「データの分析」

表や散布図の理解をみる問題では、正答率が高い結果となりました。標準偏差を求める問題の正答率は高かったものの、共分散、相関係数といった統計量を求める問題では、正答率がやや低い結果となりました。

学習のポイント・アドバイス

各単元における基礎的な問題を解くことができることはもちろん、単元をまたぐ複合的な問題にも対処できる力が必要です。公式や解法パターンの暗記にとどまらないように、意味や考え方を大切にしてください。また、問題場面から条件を整理して、公式や定理などを

適切に用いて解決できるよう力をつけて下さい。図形の問題では、様々な観点から図形を捉える多角的な見方が必要になりますので、日頃からしっかりと練習問題に取り組んでおいて下さい。さらに、問題を最後まで解ききる確かな計算力もつけておいて下さい。

解答例（一般選抜(A日程)・数学)

1月31日午前		1月31日午後		2月1日午前		2月1日午後									
英語・選択-1		英語・選択-2		英語・選択-3		英語・選択-4									
I	II	I	II	I	II	I	II								
ア	5	ア	6	ア	2	ア	1	ア	7	ア	1	ア	3	ア	-
イ	2	イ	0	イ	4	イ	2	イ	8	イ	3	イ	2	イ	3
ウ	6	ウ	6	ウ	4	ウ	2	ウ	3	ウ	2	ウ	1	ウ	0
エ	6	エ	0	エ	8	エ	1	エ	4	エ	2	エ	2	エ	0
オ	1	オ	2	オ	1	オ	9	オ	2	オ	1	オ	3	オ	9
カ	0	カ	4	カ	3	カ	0	カ	2	カ	2	カ	4	カ	2
キ	5	キ	3	キ	-	キ	9	キ	1	キ	5	キ	3	キ	2
ク	8	ク	6	ク	2	ク	0	ク	7	ク	3	ク	2	ク	2
ケ	8	ケ	8	ケ	1	ケ	2	ケ	3	ケ	2	ケ	3	ケ	2
コ	5	コ	6	コ	3	コ	6	コ	1	コ	4	コ	1	コ	2
サ	1	サ	3	サ	3	サ	4	サ	-	サ	2	サ	4	サ	2
シ	2	シ	5	シ	4	シ	1	シ	1	シ	2	シ	6	シ	9
ス	2	ス	2	ス	2	ス	6	ス	-	ス	3	ス	1	ス	8
セ	5	セ	1	セ	9	セ	8	セ	6	セ	1	セ	4	セ	6
ソ	8	ソ	4	ソ	8	ソ	4	ソ	3	ソ	1	ソ	7	ソ	2
タ	2	タ	0	タ	2	タ	5	タ	3	タ	3	タ	4	タ	8
チ	7	チ	6	チ	7	チ	7	チ	7	チ	2	チ	3	チ	-
ツ	2	ツ	3	ツ	1	ツ	3	ツ	1	ツ	3	ツ	8	ツ	2
テ	3			テ	6	テ	4	テ	9	テ	8	テ	7	テ	6
ト	2			ト	8	ト	5	ト	1	ト	7	ト	4	ト	4
ナ	6			ナ	1	ナ	5	ナ	2	ナ	1	ナ	6	ナ	6
ニ	2			ニ	1			ニ	1	ニ	2	ニ	2	ニ	2
ヌ	3			ヌ	3			ヌ	4	ヌ	4	ヌ	5	ヌ	5
ネ	2			ネ	1			ネ	2	ネ	2	ネ	2	ネ	2
ノ	1			ノ	3			ノ	1	ノ	1	ノ	1	ノ	1
ハ	4			ハ	1			ハ	-	ハ	-	ハ	1	ハ	1
ヒ	3			ヒ	0			ヒ	3	ヒ	3	ヒ	2	ヒ	2
				フ	7			フ	2	フ	2				
				ヘ	2			ヘ	1	ヘ	1				
				ホ	7			ホ	3	ホ	3				

学校推薦型選抜
(公募制)

講評・
解答例

英語

数学

国語

(A日程)
一般選抜

講評・
解答例

英語

数学

国語

(B日程)
一般選抜

講評・
解答例

英語

国語

日本史

世界史

公共,
政治・経済

数学

生物

化学

講評

出題の意図

国語においては、基礎学力の確認を目的として出題します。日ごろの学習を着実に積み重ねておけば取り組める標準的な問題ですから、語句の知識を身につけ、文章の論理展開を丁寧におさえて読み取る練習を積み重ねればよいでしょう。

①【漢字の知識】常用漢字（一部常用外）の書き取り・読み、および常識として知っておいてほしい読み

- ②【語句の知識】慣用表現、語句の意味など
- ③【文脈を読み取る力】指示内容、接続語、文中の言い換え、内容、理由などの理解
- ④【広く文脈を読み取る力】論理展開、筆者の主張や内容、趣旨合致など、文章全体の理解

出題内容・解説

2026年度入試A日程〈2科目型〉の問題から、各試験日の午前の問題のうち特に正答率の低かったものを中心に取り上げて解説してゆきます。なお、1月31日午前・午後、2月1日午前・午後のいずれもよく解答できていましたが、1月31日午後は特に正答率が高かったです。

●「1月31日午前」

問三の傍線部(c)「そらんじ」の本文中での意味を解答する設問では、①「情報を間違えずに伝える」を選択する解答が多く目立ちました。「そらんずる」という言葉は「暗誦する」こと、すなわち「覚えて口に出す」ことを意味しますが、①の「情報を間違えずに伝える」という解答ではその意味が踏まえていません。「覚えて口に出す」という意味を踏まえたものとして④「覚えた通りに演説で話す」が正解となります。解答にあたっては本文の流れからあり得そうだという理由だけで選択するのではなく、傍線部の言葉の辞書的な意味も考えながら選択するようにしましょう。

問七の傍線部(2)にある「疑問」がどのような疑問であるかを答える設問も正答率が高くありませんでした。この「疑問」に関する内容は傍線部より後に、「ナチ党の宣伝戦略は目新しいものではなかった、ナチ党の政権獲得以前の「宣伝に関しては、他を圧倒する資源が投入されたわけではなかった」と書いてあります。こうした内容が②には「実際にはそのプロパガンダの手法に独自性がない」、「当初はプロパガンダに熱心とはいえなかったのではないか」と言い換えられて書かれているため、②が正解となります。①を選択した解答が多かったですが、「ナチ党の行った自作自演が映像作

品として評判を呼んだ」といった内容は本文に書いていないため不適と判断されます。

●「2月1日午前」

問五の空欄Bに入る語句を答える設問では解答が分かれ、②「一方的」③「専門的」⑤「抽象的」を選択する解答が多く見られました。空欄Bに至るまでの本文には「スポーツ中継番組は現在、メディア・コンテキスト、ナラティブで溢れている」ことが書いてあり、空欄Bの直前ではキーワードとして再び「ナラティブ」に言及されています。こうした文脈から空欄Bには「ナラティブ」に相当する言葉が入ると理解すれば、「ナラティブ」＝「物語」、すなわち目的を持って作られたメッセージといった意味合いとして④「意図的」を選択することができます。

問十の脱落させた一文の元の位置を考える設問では、正解である③が最も多く選択されていたものの①や②を選択した解答も多く見られました。脱落させてある文には「そこにはそのスポーツに対する認識の深まり、鑑賞能力の発達といったことがある程度的前提にはなるだろう」とあり、直前の文に「そこ」に当てはまる内容があることが分かります。しかし①の直前にある「スポーツ種目の競技特性について理解すること」や②の直前の「経験的トレーニング」というのは、脱落させた文の内容を前提とするには不十分なものです。その点、③の直前では「通常の基本を押さえつつ映像化されたスポーツとその基本を逸脱した映像」は「ある種の違和感をもって感じられるようになった段階が説明されているため、この直後が上記の文の元の位置だと判断されます。

学習のポイント・アドバイス

現代文の出題では、現代社会が形成されるまでの動向を分析したものや現代社会における重要な問題を扱ったものを多く採用しています。教科書や参考書に掲載されている文章だけでなく、新聞の社

説・論説や新書の類いなどにも広く触れ、さまざまなテーマの文章を読んでおくようにしてください。

解答例（一般選抜(A日程)・国語）

1月31日午前	1月31日午後	2月1日午前	2月1日午後
英語・選択-1	英語・選択-2	英語・選択-3	英語・選択-4
I	I	I	I
ア ④	ア ③	ア ②	ア ⑤
イ ②	イ ②	イ ④	イ ④
ウ ②	ウ ④	ウ ②	ウ ⑤
エ ③	エ ⑤	エ ③	エ ②
オ ①	オ ①	オ ⑤	オ ③
カ ⑤	カ ②	カ ①	カ ①
キ ②	キ ③	キ ③	キ ④
ク ⑤	ク ④	ク ③	ク ④
ケ ②	ケ ②	ケ ①	ケ ①
コ ④	コ ③	コ ③	コ ③
サ ⑥	サ ③	サ ⑥	サ ⑤
シ ③	シ ⑦	シ ⑧	シ ④
ス ⑧	ス ①	ス ②	ス ⑧
セ ⑤	セ ②	セ ④	セ ①
ソ ②	ソ ②	ソ ②	ソ ⑤
タ ①	タ ③	タ ④	タ ③
チ ⑤	チ ⑤	チ ⑤	チ ④
ツ ④	ツ ②	ツ ④	ツ ①
テ ②	テ ④	テ ①	テ ②
ト ③	ト ①	ト ③	ト ③
ナ ①	ナ ③	ナ ③	ナ ④
ニ ③	ニ ②	ニ ③	ニ ②
又 ①	又 ④	又 ②	又 ②

学校推薦型選抜
(公募制)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(A日程)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(B日程)

講評・
解答例

英語

国語

日本史

世界史

公共,
政治・経済

数学

生物

化学

講評

出題の意図

高等学校で学習した英語の基本的な知識や運用力がどの程度身についているかを確認します。複雑な国際化が進んでいる今こそ「コミュニケーション能力」が必要とされています。ただ会話の内容を考えるだけでなく、話している人たちの立場やその会話が行われている場面・状況までもしっかり把握することが必要です。会話文特有の表現も使いこなせるようにしてください。

以下の項目のさまざまな問題に対応できるように学力を高めましょう。文法、英作文から会話、読解まで、幅広く学習しておくことが大切です。長文読解では論旨の展開を的確に読み取る力が必要

ですので、ある程度の長さのある英文を、その段落の論旨は何かとすることを考えながら読んでいきましょう。

次の①～⑤の項目についてさまざまな設問形式で出題します。

- ①長文読解（文脈を見据えた内容把握など）
- ②会話文読解（会話の流れの把握・会話定型表現の知識など）
- ③文法・語彙・語法
- ④英語表現（語句整序）
- ⑤会話表現（短い会話の完成）

出題内容・解説

出題日ごとに、正答率が低いものを中心に、解答のポイントを解説します。

「2月2日」

Ⅰ・問1－(ウ) 正解は②。No longer… は「もはや…ではない」という意味で、比較の意味はありませんから、多くの方が選んだ④の than と一緒に使えません。「～ではなく…」の、not ~ but…の応用と考えていいでしょう。

Ⅳ・問1－3 正確な順番で書くと、“Crime ②using ④the ⑤internet ③is ①on the rise”となります。

「2月3日」

Ⅰ・問5－(A) 正解は①。この論説のタイトルとしては、「AIにともなう真の代償（リスク）」でしょう。本文全体でリスクについて述べていますし、「こうしたテクノロジーには危険もともなうので、AIが人類の敵にならないような未来を構想しなくてはならない」といった趣旨のパラグラフで締めくくられています。多くの方は、④の「AIがいかに私たちの暮らしをよくしてくれるか」を選びました。たしかに、本文の1、2文目はAIの利点を述べていますが、そのあと3文目から、「しかし…」と、こうしたテクノロジーがもたらす問題

点に焦点が当てられ始めます。

Ⅱ・問1－(1) 正解は④。「今学期の授業の準備はできている？」と聞かれて、Asakoはまだ教科書の一つも購入していないと答えていますね。ですから、“Not quite”、つまり「あんまり（準備できていない）」が最適です。多くの方が選んだ“Of course”では筋が通りません。

Ⅱ・問1－(2) 正解は①。直前の“I’m of two minds when it comes to used textbooks”（直訳すると「中古教科書については、二つの異なる思いがある」）と、直後のAsakoの発言“What’s the other side of your argument?”がヒントです。したがって、①の“On the one hand”「一方では」が最適です。Asakoが「もう一つの考えは？」とも気持ちよくつながります。

Ⅲ・問2－4 正解は④。I like watching soccer than baseballとは言えません。“Better [もしくはmore] than”としなくてはなりません。多くの方は“I’m on my school’s baseball team”の“on”が間違っている、と答えましたが、これは「所属」を表す“on”で、「…の一員で」、「…に属して」の意味があります。

学習のポイント・アドバイス

長文も会話文も、もう少し細部に注意して読む必要があります。時間に制限があるので難しいかもしれませんが、おおまかな理解だけでは、正確な答えを導くことができない場合が多々あります。

会話文の穴埋め問題は、問われている部分の前後をよく読んで、ヒントを探すようにしてください。

解答例（一般選抜(B日程)・英語)

2月2日				2月3日			
英語-1				英語-2			
I		II		III		IV	
ア	③	ア	②	ア	②	ア	①
イ	①	イ	③	イ	①	イ	④
ウ	②	ウ	④	ウ	④	ウ	④
エ	③	エ	①	エ	③	エ	③
オ	②	オ	②	オ	②	オ	④
カ	④	カ	④	カ	③	カ	③
キ	①	キ	②	キ	②	キ	⑤
ク	②			ク	④	ク	④
ケ	④			ケ	①	ケ	①
コ	④			コ	④	コ	⑤
サ	②			サ	①	サ	②
シ	④			シ	④	シ	①
				ス	②		
				セ	④		

学校推薦型選抜
(公募制)

講評・
解答例

英語

数学

国語

(A日程)
一般選抜

講評・
解答例

英語

数学

国語

(B日程)
一般選抜

講評・
解答例

英語

国語

日本史

世界史

公共,
政治・経済

数学

生物

化学

講評

出題の意図

国語〔現代文〕

国語においては、基礎学力の確認を目的として出題します。日ごろの学習を着実に積み重ねておけば取り組める標準的な問題ですから、語句の知識を身につけ、文章の展開を丁寧におさえて読む練習を積み重ねればよいでしょう。

- ①【漢字の知識】常用漢字（一部常用外）の書き取り・読み、および常識として知っておいてほしい読み
- ②【語句の知識】慣用表現、語句の意味など
- ③【文脈を読み取る力】指示内容、接続語、文中の言い換え、内容、理由、心情や場面の推移などの理解
- ④【広く文脈を読み取る力】表現の特徴、論理展開、筆者の主張や内容、趣旨合致など、文章全体の理解

国語〔古文〕

教科書で学習する程度の標準的な文章を用いて、基本的な知識や読解力の確認を目的として出題しています。基本的な語句の意味や古典文法の知識を確実に身につけることを心がけて学習してください。

い。また、現代文と同様に、文章の因果関係、場面の展開や登場人物の関係などを理解しながら、丁寧に読み取る練習を積み重ねましょう。

- ①【語句の知識】語句の読み・意味など
- ②【文法知識】用言、助動詞、助詞、敬語など
- ③【現代語訳・解釈】語句や文法の知識に基づき、文脈に即した現代語訳や解釈
- ④【文脈を読み取る力】主語の把握、指示内容、和歌の表現、内容、理由、心情や場面の推移などの理解
- ⑤【広く文脈を読み取る力】主題や登場人物の心情、筋の展開など、文章全体の理解
- ⑥【文学史の知識】上代～近世の基本的事項

*国語の問題は大問が2題（問題Ⅰと問題Ⅱ）出題されます。

問題Ⅰは現代文のみです。問題Ⅱは現代文と古文から一つを選択します（受験時に選択することができます）。

出題内容・解説

2026年度入試B日程〈3科目型〉の問題で、1日目に出了た問題のうち特に正答率の低かったものを取り上げて解説してゆきます。なお、2日間ともよく解答できていました。

Ⅰ・問三の傍線部（b）「牧歌的」の意味を解答する設問で誤答が目立ちました。「牧歌的」という言葉をそのまま説明したのとして①「飾り気なく素朴な様子」が正解となりますが、②「平和で気ままな様子」③「自然の暮らしを好む様子」を選択した解答が多かったです。日常的に辞書を引いて、意味について自信がない言葉に出会ったら直ぐに確認する習慣を身に付けましょう。

Ⅰ・問四の空欄Aに入る語を選択する設問も正答率が高くありませんでした。空欄Aの直前には「一人一人の人間の生は、この『生命力』の」とあり、「この『生命力』」についてはその前に、「自然はまた『神』であり、そこにある目には見えない力＝エネルギーが働き、人間の生を可能としていた」、「それを『生命力』と呼んでもよいかもしれない」とあります。また、空欄Aの後には「個体の生命としてはいずれ枯れ、衰え、死滅する。しかし、それは人の肉体を離れて、再び根源的な生命力へと還り、また、別の個体的な生命を芽吹かせるだろう」とあります。ここで注意を要するのは、空欄A前後にある「一人一人の人間の生」「個体の生命」というのは人間個々人の生を指しているのに対し、「人間の生」「人の生」と表現されているときには一人一人ではなく「人々の生」を指している

のであって、「生命力」という言葉は後者に対して使われているということです。そうすると、人々の生のことを「生命力」と呼ぶのに対し、一人一人の人間の生というのはその「生命力」の②「分有」にあたります。正解である「分有」という言葉に馴染みがなかったのかもしれませんが、多く選択されていた③「象徴」はこの文脈に合致しません。

Ⅱ（現代文）・問一の「視」と同じ音読みをする漢字を選択する設問は正答率が芳しくありませんでした。「視」の旁に「見」とあるのでその音読みと合致する③「軒」を選んだ解答が多かったのかと思いますが、「見」は部首であり、「ケン」という読みとは無関係です（「見」が部首の漢字は他に「親」「規」「観」「覧」等があります）。「視」の音読みは篇の「司」と同じ「シ」であるため、「恩賜」「下賜」等で使うことがある②「賜」が正解となります。

Ⅱ（古文）・問九の本文と合致するものを選択する設問では、正解の②が最も多く解答されていましたが、④を選択した解答も多く見られました。④「女とは二度と会うことはないだろう」という返歌の内容が本文と違っていますが、和歌の読解が難しかったのかもしれませんが、特に修辭が難しい和歌ではありませんでした。古文の基礎的な文法や語彙をしっかりと身に付けて適切に読解できるようにしましょう。

学習のポイント・アドバイス

現代文の出題では、現代社会が形成されるまでの動向を分析したものや現代社会における重要な問題を扱ったものを多く採用しています。教科書や参考書に掲載されている文章だけでなく、新聞の社説・論説や新書の類いなどにも広く触れ、さまざまなテーマの文章を読んでおくようにしてください。

小説は明治時代のものから近年のものまで幅広く採用しています。

どのような内容のものが出題されても対応できるように、さまざまな時代・テーマの小説に触れるようにしてください。古典文学は、現代の社会常識とは異なりますので、その点に留意して理解するように心がけてください。また、基本的な古典文法や文学史についても確認しておきましょう。

解答例（一般選抜(B日程)・国語）

2月2日				2月3日											
国語-1				国語-2											
I				II 現代文		II 古文		I				II 現代文		II 古文	
ア	④	タ	③	ア	⑤	ア	②	ア	④	タ	③	ア	⑤	ア	①
イ	③	チ	⑤	イ	②	イ	⑤	イ	⑤	チ	①	イ	②	イ	③
ウ	⑤	ツ	③	ウ	⑤	ウ	③	ウ	②	ツ	①	ウ	⑤	ウ	④
エ	⑤	テ	②	エ	②	エ	④	エ	①	テ	④	エ	④	エ	④
オ	④	ト	②	オ	④	オ	③	オ	③	ト	③	オ	②	オ	③
カ	⑤	ナ	①	カ	④	カ	①	カ	⑤	ナ	③	カ	③	カ	④
キ	③	ニ	③	キ	②	キ	②	キ	④	ニ	①	キ	⑤	キ	②
ク	④	又	①	ク	③	ク	②	ク	⑤	又	②	ク	②	ク	②
ケ	①	ネ	②	ケ	①	ケ	①	ケ	②	ネ	④	ケ	③	ケ	⑤
コ	③	ノ	③	コ	②	コ	④	コ	③	ノ	③	コ	②	コ	④
サ	②			サ	④	サ	③	サ	⑤			サ	④	サ	②
シ	⑤			シ	③	シ	②	シ	④			シ	③	シ	①
ス	④			ス	④	ス	②	ス	③			ス	④	ス	④
セ	⑤			セ	①	セ	③	セ	④			セ	②	セ	②
ソ	①			ソ	④			ソ	②			ソ	①		

学校推薦型選抜
(公募制)

講評・
解答例

英語

数学

国語

(A日程)
一般選抜

講評・
解答例

英語

数学

国語

(B日程)
一般選抜

講評・
解答例

英語

国語

日本史

世界史

公共,
政治・経済

数学

生物

化学

講評

出題の意図

高等学校の日本史探究の授業の内容がきちんと理解できているかどうかを判断することを目的としていますので、設問は日本史探究の基礎となる知識を問うことを重視しています。したがって、高等学校で使用される「日本史探究」の教科書を中心とし、授業で使用する用語集や史料集、図説などからも出題します。

出題範囲について、時代では古代～近現代まで、分野では政治・外交・社会経済・文化など、すべての範囲から出題します。学習法は、まずは教科書をしっかり読むようにしましょう。また、その際、

単に用語や年代を覚えるのではなく、歴史の因果関係や時代背景などと関連させておさえるようにしましょう。また、史料や地図の出題もあります。普段から史資料集を傍らに置き、史料が表している内容や歴史事項の地理的要素などもしっかり確認しておきましょう。

出題形式は、空欄語句の補充、語句の組合せ・選択、年代整序問題はもちろん、文章の正誤判定問題も出題します。

基本的な知識をおさえたうえで、過去の入試問題にも取り組んでおきましょう。

出題内容・解説

2026年度一般入試B日程の日本史科目は、平均点が2月2日は62.7点、2月3日が59.7点という結果で、2日間の平均点は61.2点でした。2日間の平均点格差は3.0です。

日本史科目の問題は、高等学校における日本史の授業内容をきちんと理解しているかを重要視し、出題内容は平均点60点をひとつの目安にしています。その観点で考えると、2日間の平均点が60.0点をキープし、両試験日の格差も3.0でしたので、目標は達したと考えます。

今年度入試の難易度は例年と変わらず、その内容は教科書中心です。したがって、しっかりと教科書を中心に学習すれば、おのずと高得点となるといえます。とりわけ、教科書の脚注や図表、史料などへの学習と理解も必要であるのは従来どおりです。その時代の歴史の流れや個人の事績、文化財などをきちんと理解していれば、正誤組み合わせ問題や適切な組み合わせ問題を取りこぼすことはないでしょうし、高得点が狙える問題が多いといえます。この点が合否に大きく関わっていく、と考えます。

今回の入試においても、1日ごと、2日間を通じて、正答率については、いくつかの傾向がありますので、その特徴を考えていきましょう。

まず1点目ですが、今年度は1日目、2日目いずれにおいても正答率80%以上となっている問題がいくつかあるという傾向が見出されます。近年にないものです。たとえば、1日目Ⅱ問3は正答率93.7%を数えます。前述したように、今年度入試も難易度は例年と変わりませんので、例年以上に受験生のみなさんが対策をなさったものと考えられます。こういった正答率が非常に高い問題を取りこぼすと、合否に関わることになりました。

2点目は今年度も2日間通じて、XY組み合わせ問題、正誤組み合わせ問題、年代並べ問題、語句組み合わせ問題の正答率が低い傾向にあることです。正答率は26.0%台から40%台半ばあたりで推移しています。こういった問題で正答を得ることができないと、1点目のような特徴となった今年度入試では、例年以上に、合否に関わることになったのではないかと推察します。

今年度も近現代の正誤組み合わせ問題の正答率が低い傾向にあり、十分な読解ができていないことによって生じる誤答と見受けられます。こういった傾向は昨年度も同じでしたが、例年、近現代を扱う問題、分野別の問題は、他の時代や分野と比べると正答率が下がる傾向にあります。具体的には平均点が30%半ばから40%台を推移する傾向があります。今年度は20%後半台の正答率も多いといえますので、教科書を中心とした学習が追いついていないのでは、と考えます。つまり、この問題領域で正答を積み上げることができるか否かが、合否を左右するともいえます。

3点目は史料を読解したうえでの正誤組み合わせ問題や用語組み

合わせ問題の正答率も、今年度も例年と変わらず伸びていないという特徴があります。これは用語などを暗記するだけでは正答を導き出せず、読解力や思考力が問われます。これらの問題の正答率をあげると得点率があがるといえましょう。教科書と史料集を照らしながらの学びが効果的と考えます。

4点目は、1日目・2日目ともに平均点が低いのですが、近現代史の政治史に関わる問題のうち、正誤組み合わせ問題などで正答率が伸びていない傾向があるという点です。繰り返しになりますが、この分野の問題で正答率を伸ばすことが合格するためにはとても重要です。

この分野は短期間で政策や条約ができるなど、その推移が動きます。こういった点が理解できていないと正答できないと考えます。政策や条約名と年代、関係した人物、内容、背景などを理解するようにすることで、正答率が上がるものと考えます。

また今年度の特徴として、考古関係の問題の正答率がよくないという現象があります。考古系の問題は用語や分布などを十分に理解していないと正答率をあげることができませんので、教科書を丹念に読み込むようにしましょう。

総括すると、今年度入試はXY組み合わせ問題、正誤組み合わせ問題、年代並べ問題において、高得点となる問題があるいっぽう、毎年度同様に正答率が低い傾向があります。この種の取りこぼしが合否に大きく影響するといって過言ではないでしょう。これらの問題は、しっかりと、歴史事象の発生した年代とその説明が的確に判断できる知識を養っているかが問われるといえます。すなわち、最も適当であるものを選択する問題、適切な組み合わせ選択問題、さらに、正誤組み合わせ問題に対し、いかに正答を導き出すかが高得点へのカギといえるのです。

本学の日本史の入試問題は4問のうち、ひとつは分野別の問題が出題されます。分野別の問題においても正答率が低いのは毎年の傾向です。たびたび出題される内容ですから、過去問を参照してほしいと思います。とくに、文化史などは学校で使用している図録類を利用すると理解しやすくなるといえます。全体として、教科書本文はもとより、注記欄を含めた学習の深度、あるいは教科書掲載の図表への目配せができていないか、こういった点が正答・誤答の分かれ目になったのではと考えます。正しく確実な知識をもって、選択肢の文章が何を問い、用語(地名・人名も含めて)のどの点がおかしいのか、丁寧かつ的確に判断できるかが得点率アップに関わると思います。

このような点を克服するためには、正確な年代と関連人物、作品や政策の内容をきちんと把握しているかがポイントであり、そのうえで選択肢の文章をしっかりと読解する力が必要で、そういった力を判断される問題であったといえます。

学習のポイント・アドバイス

日本史科目、とりわけ、解答方法がマークシート方式だと、学習の力点がどうしても事項や人物名の暗記となるが多くなるでしょう。これは今年度入試の正答率をみてもそうですが、人物を問う穴埋め問題や基本的事項を問うような問題は正答率もよく、取りこぼしはないといえます。

しかし、本学の入試における日本史問題に関しては、事項の年代や人名や地名などを問うだけでなく、問題文や史料にそって、基本的事項や正誤組み合わせ問題、年代順選択問題、最も適切な文章などを選択させる問題が多いといえます。ということは、問題文の一部をうけて、年代をしっかりとおさえ、それに関連する事項を問う問題をいかに得点していくか、こういった点が高得点への道といえます。また、その時代の代表的な史料には目を通していただきたいと思います。

加えて、思考力を問うという意味で、史料読解による問題やグラフや地図から読み解く問題もあります。史料読解から歴史事象を導き出し、そのうえで適切な回答を選択しなければなりません。

上記の点から、着実に得点していくには、暗記に力点を置くのも大切ですが、単語としての暗記ではなく、事項の年代と背景を十分に理解したうえで、的確に、しっかりと覚えていくことだといえます。正誤問題や並べ替えの問題は、うろ覚えな知識やあやふやな理解では正解にたどり着けません。教科書をまんべんなく、しっかりと学習してください。とりわけ、近代の箇所は精読することをお薦めします。さらに、問題文をしっかりと読むことも重要です。

具体的にいえば、その事項と年代、関連人物、内容、成立した背景などを、史料集の史料とも照合しながら、あるいは教科書の注記、表・図などもしっかりと確認し、きちんと、的確に理解することが必要です。とくに、地図と地名・歴史事項の関連性は学習していただきたいと思います。教科書掲載の地図は必ず確認しておきましょう。

その地図の意味や街の位置などを正確に理解しておきましょう。さらに、グラフを読み解き、それにもとづいた解答ができる力を養っていただきたいと考えます。

そのための学習方法としては、まずは、教科書をしっかりと丁寧に読むことです。それに加え、教科書本文だけでなく、注記欄や掲載史料、掲載地図、掲載図版なども必ず目を通しましょう。今年度入試の平均点が下がった要因は、注記欄や掲載史料、掲載地図、掲載図版などを軸に出題された問題を取りこぼしているから、といえます。教科書に掲載されている意味を考え、地図ならば、あげられている地名とその位置を、図では何が描かれ、それはどういった歴史事象の説明であるのか、表は誰が何を著したのか、あるいは誰がどこに何を設けたか、などをしっかりと丹念に学習していただきたいと思えます。いわば、時間軸と空間軸を把握する学習の必要性があります。そのうえで、用語集や史料集にあたり、関連事項なども把握するようにしてください。

また、教科書をよく読んだあとに、ノートにそれを図化してみる、自分の言葉でまとめてみる、というのも効果的です。その際、先ほど述べた授業で用いる用語集や史料集も必ず確認し、事項説明などを加味していけば、全体の理解が深まり、得点アップにつながると思えます。そのうえで、文章が何を問っているのか、という文章読解にも気を付けてほしいと思えます。問題文を読み、各問いがどういった内容なのか、どういった解答を求めているのかを、理解してほしいと思えます。

最期に、教科書をしっかりと読みこむことをし、日本史の流れをしっかりとつかんだうえで、宗教史、文化史、対外交流史、社会経済史といったような部門史別に、内容をまとめておく、という学習も大変効果的であろうと考えます。

解答例 (一般選抜(B日程)・日本史)

2月2日				2月3日			
選択-1				選択-2			
I	II	III	IV	I	II	III	IV
ア ④	ア ①	ア ②	ア ②	ア ③	ア ①	ア ③	ア ⑤
イ ①	イ ①	イ ④	イ ③	イ ①	イ ②	イ ②	イ ④
ウ ②	ウ ②	ウ ②	ウ ③	ウ ①	ウ ④	ウ ③	ウ ③
エ ③	エ ③	エ ①	エ ④	エ ②	エ ①	エ ②	エ ①
オ ②	オ ③	オ ④	オ ①	オ ④	オ ②	オ ①	オ ④
カ ③	カ ⑥	カ ①	カ ④	カ ①	カ ④	カ ①	カ ③
キ ③	キ ②	キ ①	キ ①	キ ④	キ ②	キ ③	キ ③
ク ③	ク ④	ク ①	ク ①	ク ④	ク ③	ク ③	ク ②
ケ ④	ケ ③	ケ ③	ケ ②	ケ ③	ケ ①	ケ ①	ケ ①
コ ①	コ ①	コ ④	コ ②	コ ①	コ ③	コ ①	コ ④
サ ①	サ ②	サ ①	サ ①	サ ④	サ ③	サ ④	サ ②

講評

出題の意図

高等学校の世界史探究の授業内容をきちんと理解できているかどうかを判断することを目的としています。そのため、設問は世界史探究の基礎知識を問うことを重視しています。出題の中心は高等学校で使用される「世界史探究」の教科書ですが、授業で使用される用語集や図説などからも出題します。

出題範囲は、時代では古代～現代まで、地域では欧米史・東アジア史（主に中国史）が中心になっています。分野は、政治史の出題を中心に、文化史や社会経済史も出題します。ただし、戦後史や周辺地域の歴史についても出題することがありますので、時代・地域・分野において偏りのない学習を心掛けましょう。

出題形式については、空欄語句の補充、語句の選択や組合せ、文章の正誤判定問題、年代整理に加え、地図を用いた設問も出題します。

世界史の基本的事象を中心とした出題内容ですので、まずは教科書を最後まで丁寧に読みましょう。ただし、歴史用語の暗記にとどまるのではなく、歴史の流れのなかで歴史事象を確認し、理解することを心がけてください。また、教科書・図説などに掲載されている地図を確認して、世界史における地理的感覚も養っておくといでしょう。

出題内容・解説

全体として古代のギリシア（Ⅰ）やキリスト教をめぐる歴史（Ⅱ）に関する問題については、正答率が高く十分に理解できているようです。ですが、2026年度入試では、20世紀の戦争（Ⅲ）や、中国の歴史書「2月3日」Ⅳ）については平均的に正答率が低い傾向にありました。2026年度入試は、全体的に「2月3日」の問題の正答率が低い傾向にありました。

2026年度入試の傾向として、各分野の文化に関する問題（Ⅰ問2、「2月3日」Ⅳ問1・問2・問6）や、近現代史に関する問題（Ⅱ問8、「2月3日」Ⅲ問4・問9）

の正答率がとくに低い傾向にありました。

出題形式からみると、例年どおり正誤の組み合わせ問題の正答率が下がっていました（Ⅱ問7、「2月3日」Ⅲ問9）。歴史の順序を問う問題はやはり、正答率が低い傾向にありました（Ⅱ問7）。地図を使った問題も、てこずった方が多い傾向にありました（Ⅱ問8）。また思考力・判断力を問う問題は、マレーシアに関する問題（Ⅱ問7）ではおおむね対応できているようですが、中国の文化史に関わる問題（Ⅱ問1）は正答率が低い傾向にありました。

学習のポイント・アドバイス

世界史では時間の流れと、出来事が地図の上のどこで起こったかを理解することがもっとも大事です。教科書の文章だけで学習するのではなく、挿入されている地図や写真・注記、また別冊の年表と地図それに資料集も一緒に机の上に並べて学習することがポイントです。また、歴史上の都市の名前と、現在の名前が異なることも多いので、教科書に載っている地図や地図集などでよく確認しておくことが大事です。条約などは、それが締結された都市の場所と、条約の内容に含まれる場所、また締結した王・人物は誰なのか、などをしっかり地図・資料集などで確認して、自分なりにノートに整理しておきましょう。

例年では、中国史や古代オリエント・ギリシア、中世・近世ヨーロッパの問題については正答率が高いので、取りこぼしをしないように、しっかり学習しておきましょう。正誤の組み合わせ問題や、事柄・出来事の組み合わせに苦戦している受験生がやはり多い傾向にあります。正答かどうかの判断点が複数あるので、教科書を丁寧に

に読んで条約や出来事の区別をして、しっかりと理解しておきましょう。またトピック問題に関しては、独自に年表やまとめをノートに書いておくといいです。中国やイスラームの王朝ごとの皇帝・王や世界の大統領ごとに順序立てて、その事績をまとめておくといでしょう。これは思考力・判断力を問う問題にも有効です。近現代史のうち、とくにアフリカ・中東・東南アジアの分野を苦手とする受験生も多い傾向にありますので、教科書の最後までよく勉強しておきましょう。

文化史の分野については、どの地域のどの時代の人物・作品であったのかを、教科書や資料集でしっかりと確認しておくといでしょう。

基本となる教材は教科書です。最初から近現代の最後まで、注も含めてしっかりよく読み、地図や年表を見比べて、正確な知識を身につけてください。そして受験の当日は、落ち着いてゆっくり問題文を読み、解答するように心がけてください。

解答例（一般選抜(B日程)・世界史)

2月2日				2月3日			
選択-1				選択-2			
I	II	III	IV	I	II	III	IV
ア ③	ア ①	ア ②	ア ④	ア ③	ア ③	ア ④	ア ②
イ ②	イ ④	イ ④	イ ③	イ ①	イ ②	イ ④	イ ④
ウ ②	ウ ②	ウ ①	ウ ①	ウ ③	ウ ⑤	ウ ①	ウ ①
エ ①	エ ④	エ ②	エ ②	エ ②	エ ①	エ ③	エ ②
オ ④	オ ①	オ ①	オ ④	オ ④	オ ④	オ ②	オ ②
カ ③	カ ③	カ ③	カ ③	カ ③	カ ③	カ ①	カ ③
キ ①	キ ②	キ ①	キ ②	キ ①	キ ④	キ ④	キ ④
ク ④	ク ③	ク ④	ク ①	ク ②	ク ②	ク ②	ク ③
ケ ③	ケ ②	ケ ③	ケ ③	ケ ④	ケ ①	ケ ③	ケ ①

学校推薦型選抜
(公募制)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(A日程)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(B日程)

講評・
解答例

英語

国語

日本史

世界史

公共,
政治・経済

数学

生物

化学

講評

出題の意図

高等学校の授業で学習する公共および政治・経済が理解できているかどうかを判断することを目的とし、公共と政治・経済に共通する基礎的事項を出題しています。

出題分野は、「政治」「経済」「国際」の3分野です。いずれの分野とも幅広く出題しますので、特定の分野に偏ることなく教科書や資料集などを使って丁寧に学習しておくことが大切です。また、教科書外の内容としては、時事的な内容を出題することがあります。

世界や日本でどのようなことが起きているのか、その背景にはどのような問題があるのかなどを問います。日ごろから、新聞やテレビの報道で最新の動きに関心をもつように心がけるとよいでしょう。

出題形式は、空欄語句の補充、語句の選択、文章の正誤判定問題、組合せ問題、資料を用いた読解問題など一般的な形式で出題します。基本的な知識をおさえたうえで、過去の入試問題に取り組んでおきましょう。

出題内容・解説

「2月2日」**Ⅲ**は、日本の政党政治に関する問題でした。このところ、国政選挙が3年続けて行われており(2024~2026)、時事問題の要素もあわせて、対策を意識する必要性が高まっている分野とっていいでしょう。問4ですが、**④**に述べられている「企業・団体献金の禁止」はこの間、与野党が鋭く対立してきた論点の一つでした。実際には献金規制がなされていないなか、4割弱の受験生がこれを実現済みと回答していました。問6では衆院の選挙制度(小選挙区比例代表並立制)についての知識が問われましたが、8割を超える受験生が失点しています。「重複立候補制度」や「惜敗率」という言葉だけではなく、その概要さえ理解できていれば得点できた問題であるだけに残念でした。

「2月3日」**Ⅰ**では、日本の社会保障制度が題材とされています。

そのうち問4では、医療保険についての知識が問われていましたが、国民健康保険は自営業者や農業従事者向けに設けられている保険である、という基本中の基本を述べている正解の選択肢**(2)**があったにもかかわらず、それでも5割を超える受験生がそのほかの選択肢を選んでいました。得点源にすべき問題として、それだけに明暗を分けた格好になっています(正答率は46%)。基本的な知識、というのであれば、問9も同様でした。社会保障制度の歴史に関する問題でしたが、イギリスのベバリッジ報告書と並んで、この分野ではやはり基本とってよいドイツでのビスマルクによる施策が問われていますが、正答率は23%という低いものでこれも残念でした。基本を正確に抑えておくことの大切さをあらためて強調しておきたいと思います。

学習のポイント・アドバイス

「公共、政治・経済」という科目は、憲法を筆頭格に、基本的には変わることのないベーシックな知識を問う問題群と、時事問題を対象とする問題群という2つの系統からの出題に大別されます。後者に関しては、今年度もアメリカのトランプ大統領による関税政策や米価の高騰、企業によるDX化の取り組みなどが問題のなかで扱われています。

後者への対策としては、日ごろから国内外の社会問題に関心を持つことですが、アドバイスとしては、特に新聞を読むことをあげておきます。時事問題に関する知識自体はインターネットからも得られそうですが、ネットニュースを提供するプラットフォームには

ユーザーが好む分野の情報を優先して提供する傾向があり(いわゆる「フィルターバブル」)、その結果興味を持たない分野の知識に空白が生まれがちです。政治、経済はもちろんのこと、国際、環境、科学技術… 幅広い分野を網羅する新聞の継続的な講読をおすすめします。

前者の問題群については、憲法の条文からは必ずといっていいほど出題されています。日頃から条文に親しんでおきましょう。この分野からの出題では、正確な理解さえあれば容易に失点を防ぐことができます。知識を確かなものにするため、たとえば憲法の条文などは繰り返し目を通して頭に入れるように努めましょう。

解答例（一般選抜(B日程)・公共,政治・経済)

2月2日					2月3日										
選択-1					選択-2										
I		II		III		IV		I		II		III		IV	
ア	④	ア	①	ア	③	ア	①	ア	①	ア	③	ア	③	ア	①
イ	③	イ	④	イ	②	イ	③	イ	③	イ	②	イ	②	イ	④
ウ	①	ウ	④	ウ	③	ウ	④	ウ	⑤	ウ	⑥	ウ	②	ウ	③
エ	②	エ	②	エ	①	エ	②	エ	⑥	エ	④	エ	③	エ	④
オ	⑥	オ	④	オ	④	オ	①	オ	②	オ	③	オ	①	オ	②
カ	②	カ	③	カ	④	カ	③	カ	③	カ	①	カ	④	カ	⑧
キ	③	キ	④	キ	③	キ	③	キ	①	キ	③	キ	①	キ	⑤
ク	③	ク	②	ク	①	ク	②	ク	①	ク	④	ク	①	ク	①
ケ	①	ケ	③	ケ	①	ケ	④	ケ	④	ケ	⑤	ケ	⑥	ケ	②
コ	④	コ	③	コ	②	コ	①	コ	③	コ	③	コ	①	コ	⑥

学校推薦型選抜
(公募制)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(A日程)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(B日程)

講評・
解答例

英語

国語

日本史

世界史

公共,
政治・経済

数学

生物

化学

講評

出題の意図

高等学校で学習した内容を正しく理解できているかどうか、さらにそれらを活用できるかどうかを確認します。出題範囲の各単元から幅広く、基礎的な問題と応用力が必要な問題を出題します。さまざまな定理や公式を確実に理解するとともに、意味や考え方を大切に、それらを適切に使えるように練習を十分に積んでおいて下さい。また、題意を正確に把握する力と確かな計算力も求められます。

出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（「数学と人間の活動」を除く）、数学B（数列）、数学C（ベクトル）とし、主に、以下の内

容を確認する問いを出題します。

- ①さまざまな定理や公式の理解
- ②問題に対して定理や公式を適用する力
- ③題意を把握し、問題を整理する力
- ④確かな計算力

解答方法は、選択肢から答えを選ぶものではなく、解答欄の形式に合わせて数字や記号を当てはめていく方法です。

出題内容・解説

全体に渡って標準的な問題が出題されました。単元ごとにふりかえりますので、今後の学習の参考にして下さい：

(1)「数と式」

平方根の意味理解をみる問題では、正答率がやや低い結果となりました。

(2)「2次関数」

正答率が高い結果となりました。2次関数に文字変数が含まれているものの、定義域が固定されている問題での正答率は、概ね高い結果でした。

(3)「図形と計量」「図形の性質」

基本的な事柄の理解を問う問題では、正答率が高い結果となりました。方べきの定理を活用する問題では、正答率が低い結果となりました。

(4)「場合の数と確率」

概ね正答率の高い結果となりました。

(5)「データの分析」

変量を新たに定義し、共分散や相関係数を求める問題では、正答

率が低い結果となりました。

(6)「指数・対数関数」

対数関数の基本的な性質の理解を問う問題では、正答率が高い結果となりました。ただし、指数方程式や対数方程式を解く問題では、正答率が低い結果となりました。

(7)「平面上のベクトル」

ベクトルの意味理解を問う問題では、正答率がやや低い結果となりました。また、内積についての理解を問う問題や、図形への応用問題については、正答率の低い結果となりました。

(8)「図形と方程式」

図形を方程式で表し、それらの交点等を求める基本的な問題は、概ね正答率の高い結果となりました。ただし、直交する直線に関する理解を問う問題では、正答率が低い結果となりました。

(9)「数列」

具体的な数列の値や数列の和を求める問題は、概ね、正答率が高い結果となりました。数列の和について、その変化を問うやや発展的な問題では、正答率が低い結果となりました。

学習のポイント・アドバイス

各単元における基礎的な問題を解くことができることはもちろん、やや発展的な問題にも対処できる力が必要です。公式や解法パター

ンの暗記にとどまらないように、意味や考え方を大切にして下さい。粘り強く問題に取り組む姿勢と、確かな計算力も大切です。

解答例（一般選抜(B日程)・数学)

2月2日				2月3日											
選択-1				選択-2											
I		II		III		IV		I		II		III		IV	
ア	3	ア	1	ア	3	ア	1	ア	2	ア	6	ア	4	ア	3
イ	6	イ	2	イ	2	イ	2	イ	8	イ	1	イ	3	イ	3
ウ	3	ウ	1	ウ	2	ウ	2	ウ	2	ウ	5	ウ	2	ウ	—
エ	3	エ	6	エ	1	エ	3	エ	0	エ	7	エ	5	エ	2
オ	6	オ	5	オ	—	オ	2	オ	—	オ	4	オ	8	オ	1
カ	5	カ	9	カ	2	カ	3	カ	4	カ	7	カ	—	カ	—
キ	3	キ	7	キ	3	キ	1	キ	1	キ	2	キ	3	キ	1
ク	6	ク	7	ク	1	ク	2	ク	0	ク	3	ク	4	ク	0
ケ	4	ケ	2	ケ	0	ケ	7	ケ	0	ケ	2	ケ	4	ケ	1
コ	8	コ	9	コ	1	コ	2	コ	2	コ	7	コ	3	コ	7
サ	3	サ	1	サ	9	サ	5	サ	4	サ	4	サ	3	サ	2
シ	6	シ	2	シ	2	シ	6	シ	2	シ	5	シ	2	シ	8
ス	0	ス	1	ス	2	ス	1	ス	6	ス	7	ス	3	ス	9
セ	3	セ	6	セ	1	セ	3	セ	3	セ	3	セ	—	セ	1
ソ	1	ソ	6	ソ	2	ソ	1	ソ	3	ソ	1	ソ	3	ソ	9
タ	5	タ	1	タ	1	タ	6	タ	4	タ	0	タ	4	タ	3
チ	4	チ	2	チ	0	チ	1	チ	3	チ	3	チ	4	チ	0
ツ	1	ツ	1			ツ	2	ツ	1	ツ	1	ツ	9	ツ	0
テ	0	テ	6			テ	3	テ	5	テ	5	テ	4	テ	—
ト	2	ト	5			ト	5	ト	2	ト	2	ト	1	ト	2
ナ	6	ナ	3			ナ	5	ナ	3	ナ	3	ナ	1	ナ	1
ニ	3	ニ	6			ニ	3	ニ	1	ニ	4	ニ	4	ニ	4
ヌ	5					ヌ	5	ヌ	5	ヌ	1	ヌ	1	ヌ	8
ネ	2					ネ	3	ネ	3	ネ	5	ネ	5	ネ	1
											2	ノ	2	ノ	4
											ハ	7	ハ	7	
											ヒ	2	ヒ	2	
											フ	5	フ	5	
											ヘ	2	ヘ	2	
											ホ	2	ホ	2	

学校推薦型選抜
(公募制)

講評・解答例

英語

数学

国語

(A日程)
一般選抜

講評・解答例

英語

数学

国語

(B日程)
一般選抜

講評・解答例

英語

国語

日本史

世界史

公共,
政治・経済

数学

生物

化学

講評

出題の意図

高等学校の生物基礎および生物の教科書で扱われている内容を、正確に理解できているかどうかを問います。また、問題文や図、グラフなどの読み取りをもとにした、応用力や考察力を問います。

知識問題では、教科書に記載のある用語や、図が表す内容について幅広く問います。教科書の本文だけでなく、図や表の理解も重要ですので、あわせて丁寧に理解しておくことが大切です。特に、文章選択問題では、正誤の判断に正確な知識が求められます。まずは教科書に太字で記載されている用語を中心にめねなく覚えていき、関連した事項にも留意して理解していきましょう。関連した事項を

比較・整理しながら、類似点や相違点をまとめていくことがポイントです。

考察問題では、見慣れない題材も扱われることもあります。問題文や図、グラフなどの読み取りで差がつきやすくなります。考察問題の対策としては、問題演習を数多くこなし、読み取り方や考え方を習得しておく必要があります。特に、実験を扱った考察問題の演習では、単に解答するだけでなく、実験の方法、過程や得られた実験データからわかることについて、理解を深めておくことがよいでしょう。

出題内容・解説

問題は2日間とも大問のⅠ～Ⅳの4つの大問からなります。

Ⅰは全分野から出題された集合問題、Ⅱは主に生物の特徴、遺伝・遺伝子とその働き、体内環境維持・調節に関連した問題、Ⅲは主に発生、遺伝・遺伝子とその働き、代謝、Ⅳは主に生物の環境応答等に関連する問題で構成されています。

各試験日における平均点は2月2日が46.3点、2月3日が45.0点でした。それぞれの試験日において正答率の低かった問題〔正答率30%以下〕について、以下に解説しますので、学習の参考にしてください。

〔2月2日〕

- Ⅰ-問8：食作用で高原を取り込んだ樹状細胞はリンパ節に移動してT細胞に抗原を提示する。活性化した〔ヘルパー〕T細胞のうち一部がリンパ節で同じ抗原を提示しているB細胞を活性化する。
- Ⅱ-問8：「青森」という地域を理解し、そのバイオームとしては夏緑樹林〔ブナなどが代表的〕なので、夏緑樹林の特徴である初春の林床が明るく、この時期に開花する植物があることを理解する。
- Ⅲ-問4：クエン酸回路における反応ではC₆化合物から酸化脱炭酸によりC₅化合物へ、C₅化合物からさらに二酸化炭素が放出され、C₄化合物への変化がみられる。
- Ⅲ-問5：ATP合成により、内膜を挟んだ水素イオンの濃度勾配が小さくなるため、酸素消費速度が高くなる。
- Ⅳ-問3：図3、図4より、βカテニタンパク質もVegTタンパク質もノーダル遺伝子の転写を促進していることが読み取れる。
- Ⅳ-問4：中胚葉を背側から順に並べると、脊索・体節・側板と

なり、体節からは筋肉や骨が分化し、側板からは血球が分化する。

Ⅳ-問8：強さuから2uの強さに変更する〔つまり2倍の強さにする〕とニューロンの興奮頻度が上がる。

Ⅳ-問10：髄鞘は電氣的に絶縁であり、興奮は髄鞘のない切れ目のランビエ絞輪に生じる。

〔2月3日〕

- Ⅰ-問1：魚類に次に分化したのが両生類（d）でありもっとも近縁（bとc）なのは、爬虫類と鳥類であることより考える。
- Ⅰ-問9：先駆植物は光補償点も光融和点も高い。照葉樹林は秋から冬に葉を落とさない。
- Ⅱ-問1：汗腺、立毛筋は交感神経の単独支配を受ける。アドレナリンは副腎髄質から分泌される。副腎皮質からは副腎皮質ホルモンが分泌される。
- Ⅱ-問8：転換効率は $0.05 \times 10 \times 20 = 10\text{ppm}$ となる。
- Ⅲ-問3：植物の葉緑体で行われる暗反応であるカルビン回路においてはATPとNADPHが消費される。
- Ⅲ-問7：常にRNAポリメラーゼと結合し、常に転写を促進するプロモーターを持つ必要がある。
- Ⅲ-問9：同じ制限酵素で切断してDNSリガーゼでつなぐ。抗生物質を含む培地で増殖したプラスミドを取り込んでいる。
- Ⅳ-問2：ハエの受精卵は核分裂の後、核が表層に移動して細胞質分裂が起こる。
- Ⅳ-問7：筋小胞体からカルシウムイオンが放出されるとアクチンフィラメント上のトロポミオシンと結合してミオシンがアクチンフィラメントに結合できるようになる。

学習のポイント・アドバイス

基礎知識となる用語や数値を単なる暗記の対象としてだけでなく、それらの示す意味を深く丁寧に理解する意識で学習し、問題の読み取りは考え方に柔軟に対応出来る力をつける努力をしましょう。

また、教科書の表やグラフをよく理解することが学習に役立ちます。教科書を基盤として作問しますので、教科書をしっかり学習することが大切です。

解答例（一般選抜(B日程)・生物)

2月2日				2月3日																										
選択-1				選択-2																										
I	ア	⑥		II	ア	③		III	ア	④		IV	ア	④		I	ア	⑦		II	ア	②		III	ア	②		IV	ア	①
イ	④		II	イ	①		III	イ	①		IV	イ	⑤		I	イ	①		II	イ	②		III	イ	⑤		IV	イ	①	
ウ	⑥		II	ウ	④		III	ウ	③		IV	ウ	①		I	ウ	③		II	ウ	⑥		III	ウ	④		IV	ウ	④	
エ	②		II	エ	②		III	エ	①		IV	エ	②		I	エ	④		II	エ	④		III	エ	③		IV	エ	②	
オ	③		II	オ	①		III	オ	③		IV	オ	③		I	オ	①		II	オ	④		III	オ	①		IV	オ	①	
カ	④		II	カ	②		III	カ	⑤		IV	カ	②		I	カ	②		II	カ	⑥		III	カ	④		IV	カ	①	
キ	①		II	キ	⑥		III	キ	①		IV	キ	④		I	キ	③		II	キ	⑤		III	キ	②		IV	キ	④	
ク	⑥		II	ク	③		III	ク	④		IV	ク	③		I	ク	③		II	ク	⑤		III	ク	⑥		IV	ク	②	
ケ	③		II	ケ	③		III	ケ	②		IV	ケ	①		I	ケ	②		II	ケ	⑤		III	ケ	⑦		IV	ケ	④	
コ	①		II	コ	③		III	コ	②		IV	コ	⑤		I	コ	③		II	コ	⑤		III	コ	⑦		IV	コ	③	

学校推薦型選抜
(公募制)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(A日程)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(B日程)

講評・
解答例

英語

国語

日本史

世界史

公共,
政治・経済

数学

生物

化学

講評

出題の意図

高等学校で学習した内容を正しく理解できているかどうか、さらにそれらを活用できるかどうかを確認します。与えられた図やグラフ、問題文の説明などを正確に読み取る力をはじめ、考察力や応用力を問います。実験や観察も重視していますので、学校の授業でも

これらに積極的に取り組むとともに、日頃から身のまわりの化学的な事象についても興味を持って調べる姿勢をもちましょう。

出題範囲は、化学基礎、化学（〔有機化合物の性質〕のうち〔高分子化合物〕は除く）とします。

出題内容・解説

全体に渡って標準的な内容でした。「2月2日」「2月3日」ともに大問の内容構成は同じでした。Ⅰは小問集合形式で、化学基礎の領域から基本的な事項の理解を問う問題で、2日とも、主に「物質の構成と化学結合」から出題されました。Ⅱは化学基礎の領域から、1日目は「物質と化学反応式」「金属のイオン化傾向」、2日目は「物質と化学反応式」「中和滴定」に関するものでした。Ⅲは無機化学の領域から、「硫化水素の性質と製法」「アルカリ金属とその化合物」、「硫黄の化合物」「金属イオンの分離」が、それ

ぞれの日にちで出題されました。Ⅳは有機化学の領域から、1日目は「有機化合物の性質」「サリチル酸の反応」、2日目は「芳香族化合物の性質と反応」「有機化合物の元素分析」からの出題でした。正答率は2日間を通して概ね高い結果でしたが、定量的な理解をみる計算を含む問題では正答率が低くなる傾向がありました。また、有機化学の領域からの問題については2日間を通して正答率が低くなりました。

学習のポイント・アドバイス

身の周りの「化学」に目を向けることが学習の出発点です。化学基礎領域で、理論化学の理論と方法をしっかりと学びましょう。教科書を最大限に活用して、單元ごとに原理や法則を正しく理解しましょう。基礎的な事柄を学んだ上で、知識の活用を意識して、演習問題などに取り組んで下さい。化学領域では、様々な物質の性質や

構造に関して、体系的な理解が求められます。複数の事柄を関連付けて理解することに努めましょう。また、化学の基本は実験にありますので、いろいろな化学実験について、実験操作やその解析方法について整理して理解しましょう。

解答例（一般選抜(B日程)・化学)

2月2日				2月3日			
選択-1				選択-2			
I	II	III	IV	I	II	III	IV
ア ⑤	ア ④	ア ⑥	ア ②	ア ③	ア ③	ア ⑥	ア ③
イ ⑤	イ ⑤	イ ③	イ ③	イ ③	イ ⑤	イ ①	イ ⑥
ウ ④	ウ ①	ウ ①	ウ ⑤	ウ ②	ウ ④	ウ ④	ウ ②
エ ①	エ ②	エ ⑤	エ ④	エ ②	エ ②	エ ②	エ ①
オ ③	オ ①	オ ②	オ ③	オ ④	オ ②	オ ③	オ ④
カ ①	カ ④	カ ②	カ ①	カ ④	カ ⑥	カ ⑥	カ ④
キ ④	キ ⑤	キ ③	キ ④	キ ⑤	キ ③	キ ④	キ ①
ク ⑤	ク ③	ク ④	ク ⑥	ク ①	ク ①	ク ①	ク ⑤

学校推薦型選抜
(公募制)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(A日程)

講評・
解答例

英語

数学

国語

一般選抜
(B日程)

講評・
解答例

英語

国語

日本史

世界史

公共,
政治・経済

数学

生物

化学

解答例 (一般選抜(C日程)・英語)

3月5日午前

3月5日午後

英語・選択-1

英語・選択-2

I		II		I		II	
ア	②	ア	③	ア	③	ア	④
イ	③	イ	④	イ	②	イ	①
ウ	②	ウ	①	ウ	③	ウ	③
エ	①	エ	②	エ	②	エ	①
オ	③	オ	③	オ	①	オ	①
カ	②	カ	④	カ	④	カ	②
キ	②	キ	⑤	キ	③	キ	⑤
ク	③	ク	④	ク	②	ク	①
ケ	④	ケ	①	ケ	③	ケ	⑤
コ	④	コ	②	コ	④	コ	④
サ	②	サ	③	サ	①	サ	②
シ	①	シ	①	シ	③	シ	①
ス	④			ス	④		
セ	②			セ	②		
ソ	③			ソ	③		

解答例 一般選抜(C日程) 数学

解答例 (一般選抜(C日程)・数学)

3月5日午前

3月5日午後

英語・選択-1

英語・選択-2

I		II		I		II	
ア	2	ア	8	ア	6	ア	0
イ	2	イ	7	イ	3	イ	4
ウ	5	ウ	5	ウ	3	ウ	6
エ	2	エ	7	エ	2	エ	2
オ	4	オ	1	オ	1	オ	2
カ	—	カ	2	カ	3	カ	2
キ	4	キ	1	キ	2	キ	2
ク	4	ク	2	ク	2	ク	6
ケ	4	ケ	0	ケ	3	ケ	1
コ	2	コ	7	コ	2	コ	2
サ	1	サ	3	サ	3	サ	2
シ	2	シ	3	シ	4	シ	1
ス	4	ス	1	ス	3	ス	0
セ	—	セ	0	セ	2	セ	1
ソ	5	ソ	3	ソ	4	ソ	2
タ	4	タ	3	タ	2	タ	3
チ	8	チ	6	チ	2	チ	2
ツ	1	ツ	0	ツ	7	ツ	3
テ	4	テ	1	テ	4	テ	3
ト	4	ト	4	ト	2	ト	2
ナ	0	ナ	3	ナ	7		
ニ	1			ニ	1		
ヌ	4			ヌ	4		
ネ	0			ネ	8		
ノ	4			ノ	1		
				ハ	2		
				ヒ	3		
				フ	5		

解答例 (一般選抜(C日程)・国語)

3月5日午前

3月5日午後

英語・選択-1

英語・選択-2

I

I

ア	④
イ	③
ウ	⑤
エ	④
オ	③
カ	④
キ	①
ク	⑤
ケ	③
コ	②
サ	①
シ	④
ス	⑥
セ	⑦
ソ	④
タ	④
チ	②
ツ	②
テ	④
ト	①
ナ	②
ニ	③
ヌ	②

ア	④
イ	③
ウ	①
エ	②
オ	③
カ	⑤
キ	②
ク	⑤
ケ	④
コ	①
サ	⑥
シ	②
ス	⑦
セ	⑧
ソ	①
タ	③
チ	⑤
ツ	③
テ	②
ト	④
ナ	①
ニ	④
ヌ	③